

審議会の概要	
名 称	平成29年度向日市地域福祉計画策定・推進委員会
日 時	平成30年3月27日(火) 午後2時から午後3時50分
場 所	向日市福祉会館3階大会議室
出席者	(委員) 拾井、籠谷、川本、山本、藤田、吉本、清水、平井、高橋、安田
	(幹事) 水上、小畑、長谷川(和)、井口、大野、木下 ※欠席：小池、長谷川(琢)
	(健康推進課) 前田
	(防災安全課) 小島、岩尾
	(事務局) 井上、薦本
議 長	拾井(委員長)
傍 聴 人	な し
議 事	
1	開 会
2	委員長・副委員長選任 拾井委員長、安田副委員長を選任。
3	(1) 地域福祉を取り巻く近年の動向について 拾井委員から、「地域福祉を取り巻く近年の動向について～社会福祉法改正を中心に～」と題し、説明があった。
	(2) 地域福祉懇談会の報告について 事務局から「地域福祉懇談会」の開催について報告した。 【質疑応答・助言等】 ①開催内容・周知方法に関して ・年齢制限や人数制限をせず、事前登録制にしなかったことはよかった。 ・最初は、無理にでも、若い人に来てもらうとよい。 ・話し合いばかりでなく、ゲーム形式も取り入れて、来たら楽しいよということをもっとアピールしたらいい。 ・グループワークを取り入れたというのは面白い。特に、少人数でやったというのは正解。4人以内が全員集中してできる。 ・23人のうち個別に案内をしていない参加者が7人ということだが、他で催しをやっても企画した側や関係者が多く、一般で申し込んで来てくださる方が少ない。どの催しをやる人も悩んで工夫するが、上手くいかない。 ・回覧チラシの全体の印象、言葉の使い方が非常に堅いので、これでは若い人は来づらい。懇談会という名称も工夫した方がいい。 ・懇談会の中で出る意見に対して、行政が説明等をする必要は不要。意見を聞くだけでいい。言われた意見が全てではなく、いろいろな意見を取り入れて、今できる1番いいことを作るのが行政の仕事である。行政は声をきいて答えるのが基本だが、懇談会の場合には、聞きっぱなし言いつ放しの自由さも必要である。

- ・ポスター作りや名称の検討についても、市民に手伝ってもらえばいいのでは。
- ・定期的開催してはどうか。次があれば、来てよかったと思う人はまた来ることができる。他の地域へ来てもらっていいことにしてはどうか。次回いつどこでどんなテーマで懇談会があるか分かるのはいい。

②興味のあるテーマについて

- ・今、老人福祉センター琴の橋と桜の径に行く巡回バスがあるが、市民が知らず、ほとんど人が乗ってない。
- ・実際に琴の橋に行っているが、バス停が遠くて乗れない。何年も走っているのに、利用者の少ないところは見直すべきでは。バスが利用できなくてタクシーで行っている人も多い。
- ・現在は琴の橋と桜の径に行く人しか使えないが、福祉会館などへ行く際も利用できるようにしてほしい。
- ・バスを使いたい人の意見を聞ける場をつくってはどうか。

(3) 実施施策について

健康推進課から「子育てコンシェルジュの取組」について説明した。

【質疑応答・助言等】

- ・この取組は他市町村に誇れるすばらしい事業である。課題としてあった地域ぐるみでも支援というのを深めて考えていきたい。妊婦さん、小さい子どもを育てている方の支援は手厚くできているが、地域の高齢者や他の世代の方と交流する場が向日市内には少ない。そういう場ができれば、地域ぐるみで子育てする基盤づくりや、世代・対象者を越えたつながりもできる。
- ・切れ目のない支援の構築が必要との話だったが、隙間のない支援はできているか。支援が必要なのに、届かないというケースを把握しているものはあるか。

(担当課) →過去にあったケースでは、マタニティブルーの方を医療機関で把握されていたが、それを市では把握できず、後々の訪問の際にしんどかったと聞いたことがあった。今はそのような妊婦さんがいれば医療機関から本人の了解を得た上で連絡してもらっている。ステップファミリーや未入籍の方は、いろいろ悩まれていることも多い。

- ・NPOで、乳幼児とその親、祖父母が自由に来られる場所を提供しているが、自分の孫ではない地域の子どもと遊びたいという声があり、以前から検討しているが、スペースの問題もあり、実現していない。
 - ・子育てコンシェルジュの地図がかわいくて取っ付きやすいが、初めて来た人はこれを見て分かるのか。
- (担当課) →地図は訪問や転入の際に手渡ししているのだから、まずはご自宅の位置を一緒に確認している。地図は忠実に縮小して曲がり角などは強弱をつけている。市の窓口の他、ホームページでもダウンロードできる。

(4) 第2期向日市地域福祉計画（前期計画）策定後の取組について（平成29年度）

- ・自治会から脱退する方が増えている。町内行事にも参加されず孤立される。まずは今いる方が離れていかないようにすべき。
- ・最近、役員が輪番制でまわってくるのが負担で地元の古い人が脱退することも多い。私の地域は、役員を引き受けてくれる人が現れたおかげで、今は脱退が減っている。転居して来られた方は、入会してもメリットがないと言われて1年間で脱退する人が多い。

- ・他の地域で、転居してきた若い方が会長になり、新しい考え方で進めて、自治会に活気がでてきたということも聞いた。その辺りがヒントになる。若い人ができるだけ役員について町内を盛りあげてもらったらいい。
 - ・全く地域福祉について知らない人が多く、市の行事に参加している人も少ない。向日市そのものを知るためにも、行事に参加してくださいと地域で声をかけているが、参加する人が少ない。
 - ・子どもたちも以前は帰宅してから近所で遊ぶなど地域でつながりがあったが、今は家でゲームをしているのか、地域で遊んでいる姿を見ない。公園等の集まれる場所があり、週に1回でも催し等があれば、つながりができるのではないか。
 - ・最近小学校区域が昔と違い、同じ地域でも学校が分かれる場合がある。また保護者は子ども中心につながりができるので、子どもの学校が違くと保護者同士もつながりができない。違う学校に通っていても、地域でつながりがあれば子ども同士が遊べるので、何か案があればいい。土日に子どもたちが遊ぶ場所があり、そこへ親が来る、祖父母も来るという場所があればいい。
 - ・10件～20件くらいで袋小路になった新しい住宅街は、子どもたちが家の前で遊んでいて、親も外に出てよく話している。昔からの住宅街でポツンと子ども生まれると、あまり外で遊んでいない。
 - ・他の事業で親子を見ていると、若い親は子どもの遊ばせ方を知らないのではないかと感じる。年寄りが家の中でもこういう遊び方があるということを知ってあげたら子どもが興味を持つ。
 - ・地域福祉懇談会のテーマで、昔の遊び復活や自治会再生などそういうテーマで話し合ってもいいのでは。
 - ・市民プールに行く際に、民間のバスは走っているが利用しにくい。時間と回数を多くして市で実施してほしい。
- (担当課) →現在は老人福祉センターに行く巡回バスがあるが、これは老人福祉センターを利用される方のためのバスで、それ以外の方は利用できない。別に市内のコミュニティバスを運行させる事業を進めていて、平成30年中の運行を目指している。現在ルートやバス停の位置についてパブリックコメントを募集中なのでご意見いただければ。ただ、南北1ルートずつ1時間に1便から始めるため、市内の全てのところに行けるようなルートにはなっていないが、都度地域の方のご意見を聞きながら見直しをかけていきたい。その際の意見募集はみなさんの目にとまりやすいかたちで広報する。

4 閉 会

小畑幹事挨拶